

マレーシアの デフリンピック 選手を 応援しよう

全国初のホストタウン 町では3回目のホストタウン



2023年9月25日、三芳町はマレーシア・デフスポーツ協会 (MSDeaf) と協定を結び、東京 2025 デフリンピック大会のマレーシアのホストタウンとなりました。同大会でのホストタウンは、三芳町が全国初です。

2025年11月上旬を予定 **マレーシア選手がやってくる & 町民交流会開催**

デフスポーツ協会がトレーニングキャンプのために練習できる施設を視察



三芳町総合体育館
陸上・空手・バドミントンなど
アリーナ・武道場・フィットネスルームなど施設が充実しています。



埼玉スポーツセンター
ボウリング
28レーンの大規模なボウリング場です。

町の小中学生と交流の機会も



町内の小中学校の子どもたちとマレーシアのデフリンピック選手が直接、交流できるイベントを予定しています。

令和6年度 聴こえとコミュニケーションに関する講演会 ～聴こえない世界を知って「東京2025デフリンピック」を応援しよう～

日時：1/11 (土) 14:00～16:00 (13:30開場)
場所：富士見市立鶴瀬西交流センター
(富士見市大字鶴馬 3575 番地 1)

聴こえとコミュニケーションに関する講演会を富士見市と共催で開催します。※手話通訳・要約筆記・ヒアリンググループあります。

- 【第1部】聴こえとコミュニケーションについて
- 【第2部】デフリンピックへの抱負とデモンストレーション



埼玉県聴覚障害者協会
中西潤さん
第24回夏季デフリンピック
金メダリスト(空手)
小倉涼さん
出演



▲リム氏の描いた作品「家族の絆」

お互いに支えあい
相手を思いやり
世界が1つの家族に



三芳町長
林伊佐雄

新年明けましておめでとうございませう。

いよいよ今年も、第25回デフリンピック競技大会が東京で初めて開催されます。しかも開催100年を迎える記念大会です。これまで三芳町は、あいサポート運動、手話言語条例の制定など共生社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってきました。昨年9月には、あいサポート運動10周年記念事業を実施し、三芳町聴覚障害者の会の高波会長の紹介で、姉妹都市ペタリングジャヤ市在住のリン・アヌア氏が来日し、記念講演と作品展示を行いました。

リン氏は、生まれつき耳が聞こえず、10歳の時にろう学校で友人が描いた龍と鳳凰の絵を見て感動し、アートへの情熱に火が付いたそうです。

その作品には、マレーシアの豊かな自然、建築、植物や人物画などが色彩豊かに描かれ、独自のスタイルがあります。中でも目を惹くのは、家族がお互いに抱き合っている肖像画です。(上画像)

お互いに思いやり支えあっている姿に深い愛が感じられます。その絵を見てみると、なぜか心が満たされ、いつの間にか幸せになっている自分に気づかされます。

お互いに思いやり支えあう心が、様々な困難や試練をも克服し幸せへと導いてくれる。その姿そのものが何物にも代え難い幸せなのだ。この心が友人に、地域に、世界に広がる。それが誰一人取り残さない共生社会の実現に導いてくれるのだという啓示を与えてくれます。

古典でも次のようなことが記されています。

「司馬牛、憂えて曰く、人は皆兄弟有り。我独りなし。子夏曰く人と與わるに恭しくして礼あらば、四海の内、皆兄

四海兄弟

▲四海兄弟(しかいけいてい)世の中の人はずべて兄弟のように仲よく、愛し合わなければならないということ。